

ちよコツとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

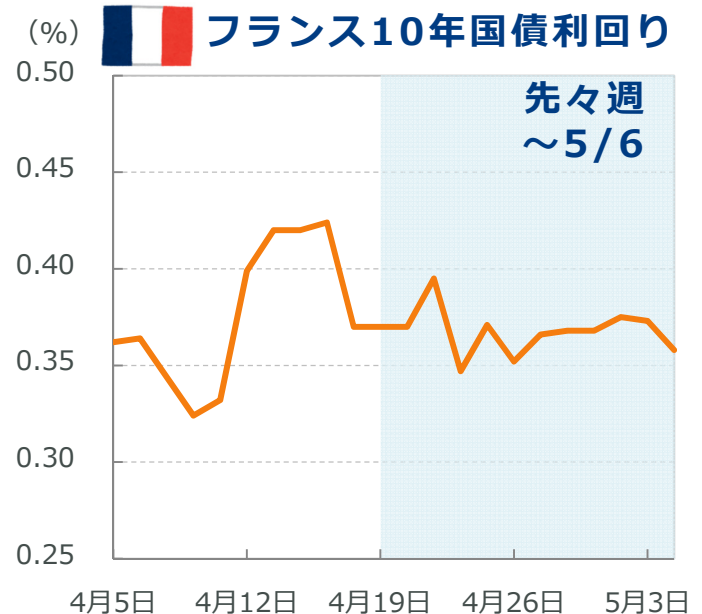
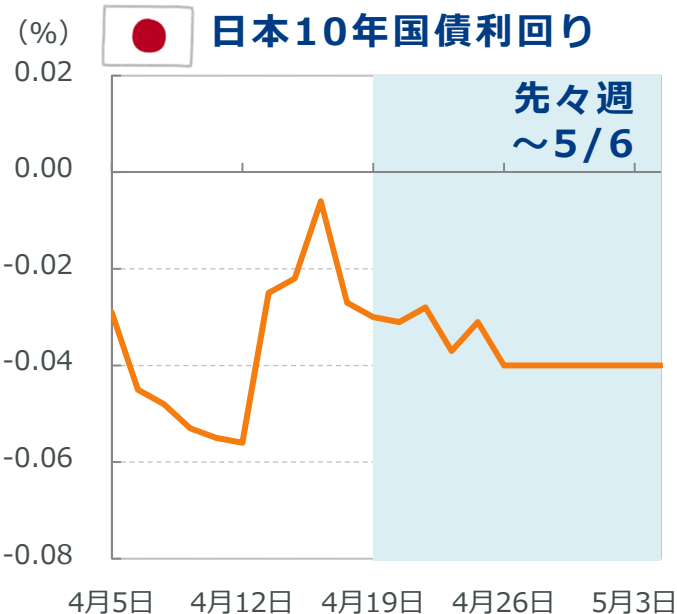
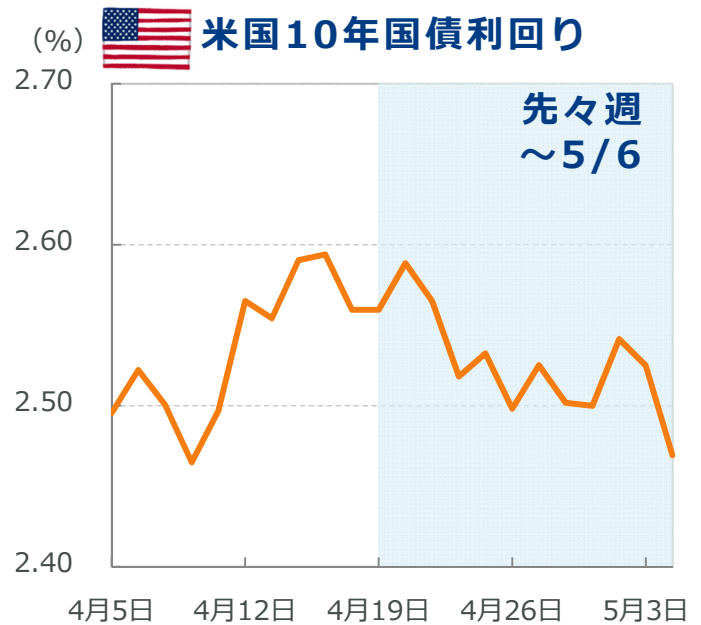
POINT 先進国国債利回り

※データ期間は2019年4月5日から2019年5月6日（日次）

【2019年4月22日～2019年5月6日】

米国国債利回りは低下

- ◆4月の米賃金上昇率やISM非製造業景況指数が市場予想を下回ったことを受けてインフレ加速への懸念が後退したことや、トランプ米大統領が5月10日から中国製品の関税を引き上げる意向を示したことを受けて、安全資産への需要が高まり、米国国債は買いが優勢となりました。
- ◆トランプ米大統領による米中協議への不満表明を受けて欧州債利回りも低下しました。



※4月29日～5月6日の日本の債券市場はゴールデンウィークのため休場

出所：Bloomberg 1/2

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ちよコツとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

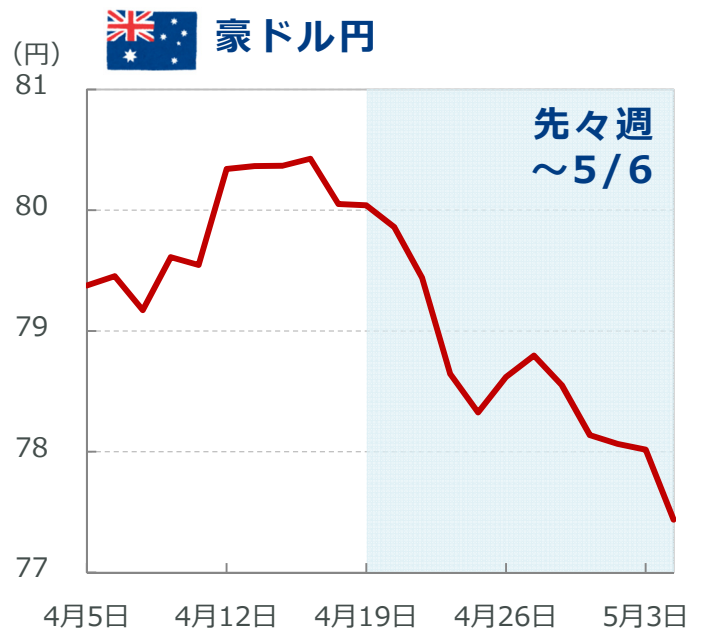
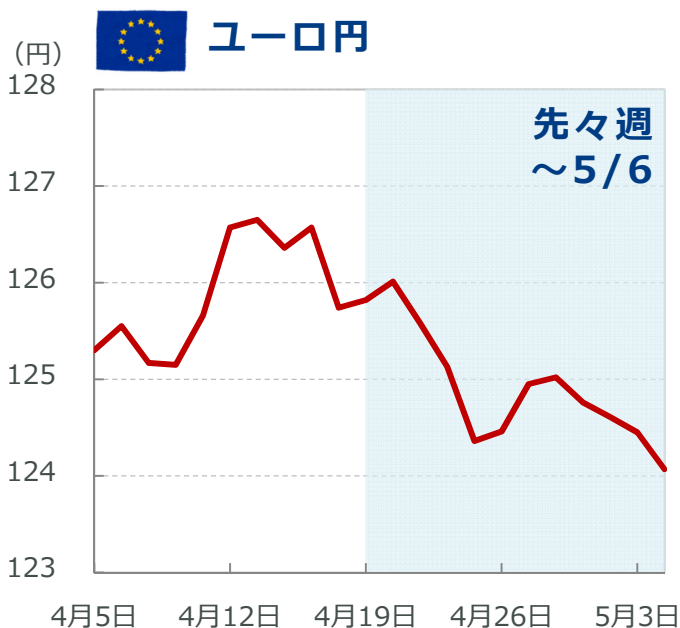
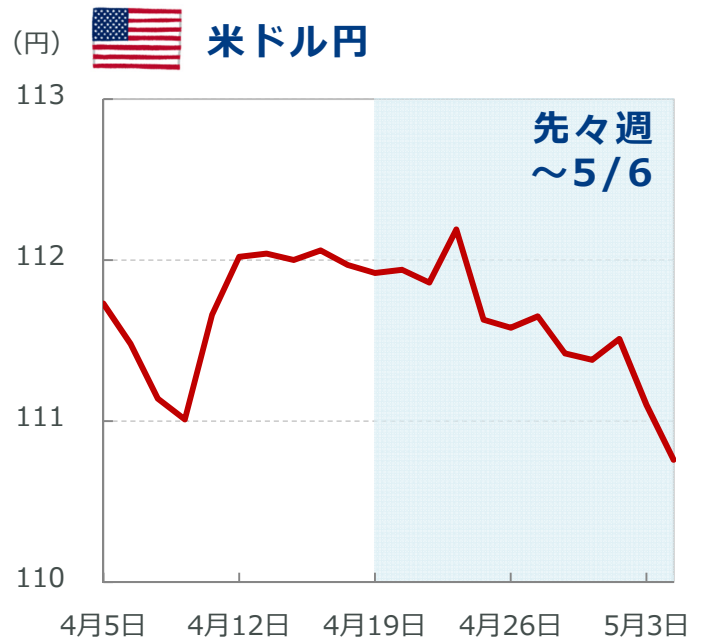
POINT  **為替**

※データ期間は2019年4月5日から2019年5月6日（日次）

【2019年4月22日～2019年5月6日】

円が対主要通貨で上昇

- ◆米国のインフレ加速懸念が後退したことによる日米金利差縮小観測や、米金融当局によるハト派発言が米ドルの重石となりました。
- ◆そのような中、米中貿易摩擦の再燃が意識され、円が買われたため、主要通貨は対円で下落しました。



出所：Bloomberg **2/2**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。